道と緑 政策番号 25 政策分野

市民の視点に立った道路、橋りょう、公園等の社会資本の整備及び市民や行政が一体となった 維持管理、補修を行うことにより、山紫水明の地の風土や千年の都としての歴史と調和した道と 基本方針 緑を創造する。

担当局 建設局 共管局

政策の評価

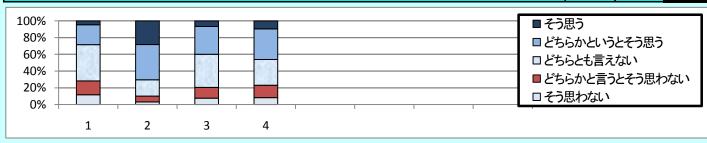
1 客観指標評価

		23年度 32年	32年度	度年度度	23 年	24年度評価					
	1915年1	評価値	目標値	度	度	前回値	最新値	目標値	達成度	評価	
1	第1次緊急輸送路における都市計画道路の整備延 長及び道路改良延長(km)	1.74	2.8	-	b	1.74	1.18	1.51	78.1%	b	
2	緑視率10%以上の箇所数(箇所)	24	37	ı	С	24	24	37	64.9%	С	
3	道路, 橋りょうへのアセットマネジメント導入率(%)	16	100	ı	е	16	23.7	8.4ポイント増	91.7%	а	
4	土地区画整理事業によるまちなみ整備率(%)	65.4	72.7	ı	а	65.4	65.7	0.7ポイント増	42.9%	С	
5	-	-	ı	ı	1	ı	ı	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	客観指標総合評価				С					b	

- ※緑視率…人の目の高さにおける、目に見える範囲の緑の割合
- ※予防管理型管理手法(アセットマネジメント)…既存の社会資本の計画的な延命化を図る予防保全型の維持管理手法

2-1 市民生活実感評価

番号	設問			
H 7	DX (H)	年度	23年度	24年度
1	災害時も安全に移動できる道路網ができている。	ı	С	С
2	京都は緑が豊かである。	ı	а	а
3	市内の道路や橋が,市民の財産として,よい状態で管理されている。	1	С	С
4	道路や公園などがバランスよく整備され,魅力ある都市空間が増えている。	1	С	С
5	-	1	-	-
6	-	1	-	-
7	-	-	_	-
8	-	-	-	-
	市民生活実感調査総合評価		b	b



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

		<u> </u>	<u>אנויש זינט-</u>	<u>V) 主女汉/</u>	
年	=度	23年	丰度	24年	丰度
順位	%	順位	%	順位	%
-	-	16	14.0%	15	14.4%

3 総合評価

В	政策の目的がかなり達成されている		
下,目標を下回 ・緑視率10%以 昨年度の評価 ・道路等へのア り,点検が進ん	後書時等の緊急輸送路の道路改良延長距離数は,厳しい財政状況の 到り,昨年度に引き続きb評価となった。 上の箇所数については,次回の現況値計測予定が平成27年度であり, のままとしている。 イセットマネジメントの導入率は,徒歩による点検専門職員の配置等によいだ結果,a評価となった。 理事業によるまちなみ整備率は,前年からは進捗したものの,目標値には となった。	23年度	С
・「どちらとも言 は高く評価され【総括】・客観打 じて取組に見る	・市民の実感については、全体として昨年と同様の評価となった。 えない」とする回答が多数を占めるものの、京都の緑の豊かさについて しており、山紫水明といった京都の強みが反映された結果となった。 信標は一定進捗するとともに、市民の実感も肯定的に評価されており、総合った実感を得ている。 総合的に勘案し、この政策の目的は、かなり達成されていると評価する。	年度	-

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	評価結果			参照
心及宙与	心 束石		23	24	ページ
2501	幹線道路ネットワークの充実	1	В	В	257
2502	健やかな生活が実感できる緑化の推進	-	В	Α	259
2503	都市活動を支える社会資本の維持管理	-	С	В	261
2504	まちのにぎわいと潤いを創出する市街地環境の整備	-	С	С	263

<今後の方向性>

- ・安心・安全な幹線道路ネットワークの形成に向け、橋りょうや道路に面する斜面、排水機場等について、災害に強いまちづくりに向けた防災・減災対策を充実するほか、緊急時の輸送ルートの確保や安全性の向上、北部山間地域と都心地域等とのアクセス強化などに取り組む。
- ・きめ細やかな緑のネットワークの形成に向け、緑視環境の充実や、公園・緑地の計画的整備など健やかな生活が実感できる緑化を推進する。
- ・社会資本を良好に維持するため、各年度の予算の平準化や長寿命化を目指した最適維持管理手法 (アセットマネジメント)の導入により、計画的かつ効率的に都市基盤施設を維持補修・更新する。
- ・魅力ある都市空間の形成に向け、土地区画整理事業などの面的整備手法により、市街地の公共施設と宅地を一体的、総合的に整備する。また、現在施工中の土地区画整理事業で完了まで未だ相当量の事業がある地区については、早期完了を目的とした事業のスリム化を目指し、事業計画の見直しを検討する。

政策	名	2	25	道と緑							
指標	名	第1次	緊急輸達	送路には	おける都市計画	道路の整備延	長及び道	路改良	延長((km)	
担当	部室		道路建設部 事業推進室			連絡先		2 - 35 3 - 36			
	標の説 果からの		ートとなる	る高規格	道路,直轄国道	等と京都府庁,				道路改良	延長
	標の意 り 要な路線 漂		≥計画的(に進める	ことを	3 算出方法 算出方法:(转 出典:事業担当	执行事業費		業費)〉	<計画総列	近長
4 数	:値										
10年後(目標値	の(平成3	2年度)		·度評価値 74	平成32年度目標値 2.8		ぼ完全整備	根拠	o) を目指	ます。	
		数値	最新		推移		<u> </u>	単年度目標 [:]			
数値		<u>丰度</u> 74	23年 1.	<u> </u>	0.56km減	数值 1.51				章額÷総事業	達成度 78.1%
>>1 III	人民時代				中長期目標		負 / ^ 計画	松延女)の	建成を日報	E 9 o	
*** / 古	全国順位	数値	目標年次	達成度	根	拠		備考			
数値 5 評	価基準				 6 基準説明		_		<u> </u> フ証値	価結果	
			S . I S		道路改良延長を	公市出典に反る	劫/与市	7	/ PT		r
単年度	目標に対	する達成	 友度が							23	24
単年度 a:80% o:60% c:40% d:20%	以上 以上80% 以上60% 以上40% 以上40%	卡満 卡満	対度が		業費の割合に計で算出し、当該 比較して達成度 以下20%刻みで基	画総延長を乗じ 年度の目標整備 が80%以上の場	ること 前延長と 合をa,		-	b	24 b
単年度 a:80% o:60% c:40% d:20% e:20%	以上 以上80% 以上60% 以上40% 未満 名	⇒満 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	10%		業費の割合に計 で算出し,当該 比較して達成度	画総延長を乗じ 年度の目標整備 が80%以上の場合 基準を設定した。	ンること 対延長と 合をa,	2 – 3 5	-		
単年度 a:80%J o:60%J c:40%J d:20%J d:20%J 指標 担当	以上 以上80% 以上60% 以上40% 未満 名	₹満 縁視率 水			業費の割合に計で算出し、当該 比較して達成度 以下20%刻みで基	画総延長を乗じ 年度の目標整備 が80%以上の場	ンること 対延長と 合をa,	2-35	589		
単年度 a:80% b:60% c:40% d:20% d:20% 指標 担当 1 指標	以上 以上80% 以上60% 以上40% 未満 名 4部室 標の説	未満緑視率水明	10%]と緑環境	宣 部	業費の割合に計で算出し、当該 比較して達成度 以下20%刻みで基	画総延長を乗じ 年度の目標整備 が80%以上の場 基準を設定した。 連絡先	ごること 対延長と 合をa,			b	b
単年度 a:80% b:80% c:40% d:20% d:20% 指標 担当 1 指 地 の % と 2 指 細 市 の % の % の % の % の % の % の % の %	以上 以上80% 以上60% 以上40% 未満 名 部室 標の説に に設けた	には満満 視率 水 明 測地点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10% J と緑環境 系(37f	ぎ部 箇所)に 形成をめ	業費の割合に計で算出し、当該 比較して達成度 以下20%刻みで基 	画総延長を乗じ 年度の目標整備 が80%以上の場 基準を設定した。 連絡先	こること 対延長と 合をa, 2 2 おける目 ・出典等 き1.5mにある	に見える 等 居えたカ	3範囲の	b 緑の割合	b か 1
単年度 a:80% b:80% c:40% d:20% d:20% 指標 担当 1 指 地位0%以 2 指 2 指	以上 以上80% 以上60% 以上40% 未満 名 第一章 標の説 に 上の 簡 で た の 続 た の 続 た の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に の に	には満満 視率 水 明 測地点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10% J と緑環境 京(37f アークのチ チする緑	語所)に 形成をめ の確保状	業費の割合に計で算出し、当該 比較して達成度 以下20%刻みで基 	画総延長を乗じ 年度の目標整備 が80%以上の場 表準を設定した。 連絡先 人の目の高さに 3 算出方法 算出方と 算出方と 算出した事業担当	こること 対延長と 合をa, 2 2 おける目 ・出典等 き1.5mにある	に見える 等 居えたカ 5 緑の割・	5 範囲の メラを用	b 緑の割合	b か 1
単年度(80%)。1 (80%) 1 (以上 以上80% 以上60% 以上40% 未満 名 第一章 標の説 に 上の 簡 で た の 続 た の 続 た の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に れ の に の に	たまでは、	10%J と緑環境 (37f アークのチ チする緑(語所)に 形成をめ の確保状	業費の割合に計で算出し、当該 比較して達成度 以下20%刻みで基 	画総延長を乗じ 年度の目標整備 が80%以上の場 港準を設定した。 連絡先 人の目の高さに 第出方法 第出たま 第出した。事業担当 すべての計	こること 対	に見える 等 居えたカ う緑の割 て、緑視	5範囲の メラを月 合を計測 率10%以	b b a 緑の割合 b b c 水立 b c 水立 c k 持す	b が 1 平に撮 %)
単年度(%)。 は:80%)。 に:40%)。 に:40%)。 は:20%)。 指揮 担指地以 指細市標数 (4 年年年年)。 10年年年)。 10年年)。 11年年) 11年年) 11年年) 1	以上 以上80% 以上60% 以上40% 未 名 3 3 3 2 4 6 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	緑視率 水 明計数 味 ッに 度)	10%J と緑環境 (37f マークのチ チする緑の 平成23年 2	語部	業費の割合に計で算出し、当該 比較して達成度 以下20%刻みで基 高所数(箇所) まおける緑視率(で、) で、) で、) で、) で、) で、) で、) で、) で、) で、)	画総延長を乗じ年度の目標整備が80%以上の場。 連絡先 本を設定した。 連絡先 人の目の高さに 第出方法。 第出た写事業担当 すべての計 (平成22年	こることと は を を を は は は に は に は に は に は に は に に は に は に に に に に に に に に に に に に	に見える 等 居えたカ お縁の割って、緑視 おける10% 単年度目標	5 範囲の メラを月 合を計測 率10%以上 6以上の箇 値	b b a 緑の割合 b b c 水立 b c 水立 c k 持す	b が 1 平に撮 %)
単年度(%)。 は:80%)。 に:40%)。 に:40%)。 は:20%)。 指揮 担指地以 指細市標数 (4 年年年年)。 10年年年)。 10年年)。 11年年) 11年年) 11年年) 1	以上 以上80% 以上60% 以上40% 未 名 3 3 4 6 6 7 7 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	様 様 様 様 様 様 様 様 様 様 様 ・ ・ ・ を は ・ に に に に に に に に に に に に に	10%J と緑環境 (37f アークのチ チする緑の 平成23年 23f 23f	語部	業費の割合に計で算出し、当該 比較して達成度 以下20%刻みで基 多所数(箇所) まおける緑視率(で、これでは、 で、これで、 で、これで、 で、これで、 で、 で、これで、 で、これで、 で、これで、 で、これで、 で、これで、 で、これで、 で、これで、 で、これで、 で、これで、 で、 で、これで、 で、これで、 で、これで、 で、これで、 で、 で、これで、 で、これで、 で、これで、 で、 で、これで、 で、 で、これで、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	画総延長を乗じ 年度の目標整備 が80%以上の場 港準を設定した。 連絡先 人の目の高さに 第出方法 第出たま 第出した。事業担当 すべての計	こることと は を を を は は は に は に は に は に は に は に に は に は に に に に に に に に に に に に に	に見える 等 居えたカ お縁の割って、緑視 おける10% 単年度目標	5 範囲の メラを月 合を計測 率10%以よ 6以上の箇	b b a 緑の割合 b b c 水立 b c 水立 c k 持す	b が 1 平に撮 %)
単 = 80%以	以上 以上80% 以上60% 以上40% 未 名 名 容 深 一 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	株 緑 水 場 水 場 水 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	10%J と緑環境 (37f アークのチ チする緑の 平成23年 2 2 2 2 2	話部	業費の割合に計で算出し、当該 比較して達成度 以下20%刻みで基 5所数(箇所) おける緑視率(で説を示 平成32年度目標値 37 推移 増減なし 中長期目標	画総延長を乗じ年度の場合を開発が80%以上の場合を設定した。	こることと は を を を は は は に は に は に は に は に は に に は に は に に に に に に に に に に に に に	に見える 等 居えたカ お縁の割って、緑視 おける10% 単年度目標	5 範囲の メラを月 合を計測 率10%以上 6以上の箇 値	b b a 緑の割合 b b c 水立 b c 水立 c k 持す	b が 1 平に撮 %)
単 a c c d d e c d e c d	以上 以上80% 以上60% 以上40% 未 名 3 3 4 6 6 7 7 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(株)	10%J と緑環境 (37f アークのチ チする緑の 平成23年 23f 23f	話部	業費の割合に計で算出し、当該 比較して達成度 以下20%刻みで基 5所数(箇所) こおける緑視率(で説を示 平成32年度目標値 37 推移 増減なし 中長期目標 次回計測は平成27年	画総延長を乗じ年度の場合を開発が80%以上の場合を設定した。	こることと は を を を は は は に は に は に は に は に は に に は に は に に に に に に に に に に に に に	に見える 等 居えたカ お縁の割って、緑視 おける10% 単年度目標	5 範囲の メラを月 合を計測 率10%以上 6以上の箇 値	b b a 緑の割合 b b c 水立 b c 水立 c k 持す	b が 1 平に撮 %)
単a: 60%以 は 1 1 市 0 2 きてす 4 1 1 年 数 数値 を	以上 以上80% 以上60% 以上40% 未 名 名 容 深 一 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	緑 水 水 が 水 水 が 水 水 が 水 水 が 水 が 水 が 水 が 水	10%J と緑環境 (37f アークの) チする緑の 平成23年 23f 23f 2 1標年次	意部 一般では、 一をは、 一を	業費の割合に計で算出し、当該 比較して達成度 以下20%刻みで基 5所数(箇所) おける緑視率(ぶだを示 平成32年度目標値 37 推移 増減なし 中長期目標 根	画総延長を乗じ年度の場合を開発が80%以上の場合を設定した。	こることと は を を を は は は に は に は に は に は に は に に は に は に に に に に に に に に に に に に	に見える 存 居えたカ 居えた別 で、おける10% 単年度目標根	5 範囲の メラを月 合を計測 本10%以上の箇 値 拠	b 緑の割合 別(単位は 上を維持すが 所は24箇所	b が 1 平に撮 %)
単a: 60%以 は 20% は 4 年標	以上80% 以上80% 以上40% 名 部標設の 7 一次 7 一次 8 一次 7 一次 8 一次 8 一次 9 一次 1 一	緑神 水 水 は 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水	10% と緑環境 (37f アークのチ チする緑の 平成23年 23章 2 1 目標年次 27年度	語部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一	業費の割合に計で算出し、当該度以下20%刻みでまい較して達成のできます。 またい (画総延長年 (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の)	こり は は は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に は に に は に に に は に に に に に に に に に に に に に	に見える 存 居えたカ 居えた別 で、おける10% 単年度目標根	5 範囲の メラを月 合を計測 本10%以上の箇 値 拠	b b a 緑の割合 b b c 水立 b c 水立 c k 持す	b が 1 平に撮 %)

25 政策名 道と緑 道路,橋りょうへのアセットマネジメント導入率(%) 指標名 担当部室 土木管理部 連絡先 222 - 3568指標の説明 施設の中長期的な劣化予測を行うとともに、予算的制約の下でいつどのような対策を、どこで行うのが最適であ るか体系的に意思決定する手法を、道路舗装・橋りょうに導入した率 指標の意味 3 算出方法・出典等 道路や橋りょうといった市民生活に不可欠な社 算出方法: (点検済道路延長÷管理道路延長) × 1/ 会資本の計画的・効果的な保全状況を示す指標 2+(点検済橋りょう数÷管理橋りょう数)×1/2 出典:事業担当課調べ 4 数値 平成23年度評価値平成32年度目標値 根拠 10年後の(平成32年度) 目標値 16 100 完全導入を目指す。 前回数值 <u>最新数值</u> 単年度目標値 推移 数値 根拠 達成度 残年数内に完全実施するために必要な 数値 16 23.7 7.7ポイント増 8.4ポイント増 91.7% 単年度の進ちょく割合 中長期目標 全国順位 目標年次 達成度 根拠 数値 備老 数値 評価基準 7 評価結果 6 基準説明 単年度目標値に対する達成度が 当該指標については,道路・橋りょう 23 24 a:80%以上 の状況により,実施優先度などを考慮 b:60%以上~80%未満 し,80%以上をa,以下20%刻みで基 c:40%以上~60%未満 準を設定した。 е а d:20%以上~40%未満 e:20%未満 指標名 土地区画整理事業によるまちなみ整備率(%) 担当部室 連絡先 2 1 3 - 3 5 3 7都市整備部 指標の説明 施行中の土地区画整理事業地区において,事業が進み良好なまちなみが形成された区域の面積を,事業費の執行 状況により示したもの 指標の意味 算出方法・出典等 算出方法:施行中地区で,各年度の事業費執行額を施行済面積に換算して事業当初から積み上げた累計値を全体地区面積 「魅力ある都市空間の形成」に向けた土地区画 整理事業の進み具合を示す指標 で割った率 出典:事業担当課調べ 4 数値 平成23年度評価値平成32年度目標値 根拠 10年後の(平成32年度) 施行中土地区画整理事業628ha (8地区)のうち,298ha (5地区)の施行完了及び残り3地区について一定の事業進ちょくを目指す。 目標値 65.4 72.7 単年度目標値 前回数值 最新数值 推移 22年度 23年度 数値 達成度 (10年後の目標数値-前回数値)/前回 65.4 65.7 0.3ポイント増 0.7ポイント増 42.9% 数値 数値計測時点での残年数 中長期目標 全国順位 数値 目標年次 達成度 根拠 備考 数值 7 評価結果 評価基準 6 基準説明 まちなみ整備率を指標として、各年度での 単年度の目標値に対する達成度が、 23 24 a: 80%以上 最新数値と単年度目標値の前回数値からの b: 60%以上~ 80%未満 伸び分を率化し、これが80%以上となる場 c: 40%以上~ 60%未満 合をaとし、以下20%刻みで基準を設定し

※達成度=(最新数値-前回数値)/(目標

值-前回数值) ×100

а

C

d: 20%以上~ 40%未満

e: 20%未満